

令和8年3月5日・6日

# 防災地域建設委員会資料

## 予算案

1	令和8年度島根県一般会計予算 [関係分]	1
2	令和8年度島根県市町村振興資金特別会計予算	28
3	令和7年度島根県一般会計補正予算 (第11号) [関係分]	30
4	令和7年度島根県一般会計補正予算 (第12号) [関係分]	33
5	令和7年度島根県市町村振興資金特別会計補正予算 (第2号)	39

## 報告事項

1	一畑電車新造車両の導入について	41
2	第12次島根県交通安全計画 (素案) について	45
3	第2期三江線沿線地域公共交通計画の策定について	47

### 【別冊】

別冊資料1 第12次島根県交通安全計画 (素案)  
(令和8年度～令和12年度)

別冊資料2 第2期三江線沿線地域公共交通計画 (案)

地域振興部



【第3号議案】

令和8年度島根県一般会計予算 [関係分]  
 (令和8年度当初予算)  
 [地域振興部]

1. 課別予算額

(単位:千円)

課名	R8当初(A)	R7当初(B)	比較増減 (A)-(B)	(A)/(B)
地域政策課	634,208	528,344	105,864	120.04%
しまね暮らし推進課	1,410,120	1,353,905	56,215	104.15%
中山間地域・離島振興課	342,307	353,667	▲ 11,360	96.79%
市町村課	956,608	1,258,430	▲ 301,822	76.02%
交通対策課	3,788,527	2,887,095	901,432	131.22%
地域振興部 計	7,131,770	6,381,441	750,329	111.76%

2. 主要事業

課名	事業名等	ページ
地域政策課	デジタル戦略推進事業	3
しまね暮らし推進課	移住・定住対策(ふるさと島根定住推進事業)	5
しまね暮らし推進課	関係人口の拡大(しまね関係人口・移住促進事業)	6
しまね暮らし推進課	わくわく島根生活実現支援事業	7
中山間地域・離島振興課	中山間地域総合対策推進事業(小さな拠点づくりの推進)	9
中山間地域・離島振興課	中山間地域総合対策推進事業(スモール・ビジネスの推進)	11
中山間地域・離島振興課	特定地域振興法に関する事業の推進(特定地域づくり事業協同組合支援事業)	12
中山間地域・離島振興課	地域内経済循環促進事業	13
中山間地域・離島振興課	中山間地域の生活機能の維持・確保支援施策	14
中山間地域・離島振興課	特定有人国境離島地域の地域社会維持推進施策	16
交通対策課	生活交通ネットワーク総合支援事業	21
交通対策課	地域生活交通の担い手確保促進事業	22
交通対策課	隠岐航路運航維持事業	23
交通対策課	JR木次線、山陰本線利用促進事業	24
交通対策課	出雲縁結び空港路線維持事業	25
交通対策課	海外航空路開拓事業	26
交通対策課	萩・石見空港路線維持事業	27

# 令和8年度 当初予算 一般会計

## 【歳出】

(単位:千円)

課名		R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A) - (B)	R8当初(A)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>地域政策課</b>		<b>634,208</b>	<b>528,344</b>	<b>105,864</b>	<b>【財源】 国:50,490、使手:3,762、一財:579,956</b>
1	人件費 一般職給与	145,879	140,642	5,237	一般職16人 地域政策課 145,879
2	人件費 一般職給与	220,196	201,706	18,490	一般職26人 中山間地域研究センター 220,196
3	中山間地域研究センター管理運営事務費	52,642	50,489	2,153	1 管理運営費 1,957 2 一般管理費 20,714 3 施設等維持管理費 29,971
4	東日本大震災受入被災者生活支援事業費	0	4,137	▲ 4,137	
5	デジタル戦略推進事業費	118,277	90,228	28,049	1 デジタル戦略推進事業費 15,360 2 市町村デジタル化支援事業費 17,737 3 地域社会デジタル化推進事業費 85,180
6	携帯電話不感地域対策事業費	56,049	6,006	50,043	移動通信用鉄塔施設整備事業費 56,049
7	国庫支出金返還金	0	88	▲ 88	
8	企画諸費、主要施策企画調整費、自治振興諸費、行政情報化推進諸費	41,165	35,048	6,117	行政事務費、地域振興諸費等 41,165

## 【債務負担行為】

### 地域政策課

(単位:千円)

No.	事 項	期 間	限 度 額
1	移動通信用鉄塔施設整備資金借入金償還元利補給金	令和9年度 ~ 令和18年度	4,595

# デジタル戦略推進事業

【地域政策課】

## 1. 事業概要

I C Tを活用した地域課題の解決に向けた取組の支援や、市町村の自治体D Xを円滑に進めるための体制整備を行うなど、デジタルによる県民の利便性向上等を図る取組を推進

## 2. 事業内容

### (1) あらゆる分野での I C T利活用

[予算額 34,223 千円 (R 7 当初比 ▲642 千円)]

- ① I C Tを活用した地域課題解決に向け、産官学民が連携したプラットフォームを整備  
(チャットシステムの整備、研修会・マッチングの実施、実証事業の支援)
- ② データ利活用の普及促進のためのワークショップ等を実施

### (2) 県民の利便性向上と行政の効率化

[予算額 57,247 千円 (R 7 当初比 +9,831 千円)]

- ① 県・市町村によるシステム等の共同調達を実施する事務局の運営及び市町村の情報部門における人材育成、実務遂行等の支援【拡充】
- ② 市町村による自治体情報システムの標準準拠システムへの移行及び移行後の運用経費抑制に向けた取組を支援

### (3) デジタルデバйд対策

[予算額 26,807 千円 (R 7 当初比 +18,860 千円)]

- ① 高齢者等に対する I C T機器利用講習会の講師人材を育成するための研修を実施
- ② 地域住民の身近な場所に I C T機器を整備し、地域全体で I C Tを学ぶ仕組みを整備

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 118,277 千円 (R 7 当初比 +28,049 千円)

# 令和8年度 当初予算 一般会計

## 【歳出】

(単位:千円)

課名		R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)-(B)	R8当初(A)財源内訳等
No.	議案事業				
しまね暮らし推進課		1,410,120	1,353,905	56,215	【財源】 国:167,718、県債:2,000、その他:22,839、 一財:1,217,563
1	人件費 一般職給与	81,007	75,453	5,554	一般職10人 81,007
2	ふるさと島根定住推進事業費	620,555	605,360	15,195	1 UIターンしまね推進事業費 362,128 2 ふるさと島根定住財団関係経費 258,427
3	しまね関係人口・移住促進事業費	124,105	123,107	998	1 関係人口開拓事業費 82,602 2 関係人口の受入事業費 25,796 3 しまね田舎ツーリズム推進事業費 15,707
4	わくわく島根生活実現支援事業費	115,801	114,535	1,266	1 移住支援金交付事業費 90,576 2 マッチング支援事業費 25,225
5	地域の自主的・主体的活動への支援費	22,378	25,178	▲ 2,800	1 地域づくり活動推進費 726 2 国等の助成制度を活用した支援費 900 3 地域の活力創出支援事業費 20,752
6	県立しまね海洋館管理運営事業費	435,847	400,289	35,558	しまね海洋館アクアスの管理運営費 435,847
7	企画諸費、主要施策企画調整費、自治振興諸費	10,427	9,983	444	行政事務費等 10,427

## 【債務負担行為】

### しまね暮らし推進課

(単位:千円)

No.	事項	期間	限度額
1	過疎地域自立促進特別事業費	令和9年度	22,100
2	ふるさと島根定住推進事業費	令和9年度	44,550

# 移住・定住対策（ふるさと島根定住推進事業）

【しまね暮らし推進課】

## 1. 事業概要

ふるさと島根定住財団を中心に、市町村や関係団体と連携し、地域別、年代別など属性に応じたUターン・Iターン施策を推進

## 2. 事業内容

### (1) 情報発信 [予算額 69,376 千円(R7当初比 +2,179 千円)]

- ① 移住支援ポータルサイト「くらしまねっと」による情報発信
- ② 社会人のUターン・Iターン希望者のしまね登録を促進
- ③ 若者や女性に向けた県内外の情報発信の強化

### (2) 相談対応 [予算額 154,522 千円(R7当初比 ▲16,410 千円)]

- ① 県外において、属性に応じた移住相談会等を開催（東京・名古屋・大阪・広島）【**拡充**】
- ② 20～30 歳代の県出身学生及び社会人を対象とした県外合同企業説明会を、規模を拡大して開催（東京、大阪）【**拡充**】
- ③ 都市圏における情報発信・相談窓口として、移住支援コーディネーター（東京、大阪、広島）、移住企画プランナー（東京、大阪）を配置
- ④ 若年層への発信力が高い民間大手転職フェアに島根県ブースを出展（東京・神奈川・大阪・広島）【**拡充**】

### (3) 体験事業 [予算額 115,743 千円(R7当初比 ▲17,296 千円)]

- ① 農林漁業等での体験を行う場合の費用の一部を助成（外郭団体の基金も活用して実施）
- ② 無料職業紹介事業の求人サイトに、新たに社会人インターンシップ情報の掲載・検索機能を追加し、就職支援の取組を強化【**新規**】

### (4) 受入体制 [予算額 22,487 千円(R7当初比 ▲1,044 千円)]

- ① 市町村が行う受入や定着の取組、職員のスキルアップを支援【**拡充**】
- ② 移住者と地域とを結ぶ交流プログラムを実施する団体を支援

### (5) 定住財団運営費 [予算額 258,427 千円(R7当初比 +47,766 千円)]

- ① 事業の柔軟な執行を図るため、個別事業毎に計上していた財団人件費を一括計上

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 620,555 千円(R7当初比 +15,195 千円)

# 関係人口の拡大（しまね関係人口・移住促進事業）

【しまね暮らし推進課】

## 1. 事業概要

ふるさと島根定住財団や市町村、関係団体と連携し、新たな地域づくりの担い手や将来的な移住者の増加を図るため、関係人口の拡大を推進

## 2. 事業内容

(1) 関係人口の開拓 [予算額 29,102 千円 (R7 当初比 ▲2,653 千円)]

① 関係人口の掘り起こしのため、課題解決型連続講座「しまコトアカデミー」や島根で活躍する人材等によるセミナーの開催

(2) 関係人口と地域との接続 [予算額 12,619 千円 (R7 当初比 +1,029 千円)]

① しまね関係人口マッチング・交流サイト「しまっち！」による関係人口と地域活動とのマッチングの促進

(3) 関係人口受入地域への支援 [予算額 28,884 千円 (R7 当初比 ▲4,748 千円)]

① 関係人口を受け入れる地域団体等を対象に、アドバイザー派遣や活動費の助成、受入意識の醸成を図る事例発表等を開催

② 県内の地域づくり関心層に向け、新たに地域活動を始めるための実践的な講座「しまね地域活動担い手育成講座」を開催

(4) 県内高校卒業生の還流促進 [予算額 53,500 千円 (R7 当初比 +7,370 千円)]

① 市町村による、県外に流出した学生・若手社会人と、出身地域等との関わる機会を創出する取組等を支援

② 県外へ進学した学生を対象に、島根への関心を高めるイベント等を開催し、ネットワークを構築

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 124,105 千円 (R7 当初比 +998 千円)

# わくわく島根生活実現支援事業

【しまね暮らし推進課】

## 1. 事業概要

東京圏からのUターン・Iターンを促進するため、東京 23 区在住者・通勤者が島根県に移住した場合の移住に要する経費の助成等を実施

## 2. 事業内容

[対象] 東京 23 区に 5 年以上在住又は通勤する者で、以下の①～④のいずれかに該当するもの

- ① 中小企業等に就職又は起業した者
- ② 専門人材として就業した者
- ③ 移住元での業務をテレワークで実施する者
- ④ 関係人口として移住先の市町村が認めた者

[上限額] 2 人以上世帯の場合 100 万円

(18 歳未満の子ども 1 人につき 100 万円を加算)

単身世帯の場合 60 万円

[負担割合] 国 1/2、県 1/4、市町村 1/4

## 3. 予算額

令和 8 年度当初予算 1 1 5, 8 0 1 千円 (R 7 当初比 + 1, 2 6 6 千円)

# 令和8年度 当初予算 一般会計

## 【歳出】

(単位:千円)

課名		R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)-(B)	R8当初(A)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>中山間地域・離島振興課</b>		<b>342,307</b>	<b>353,667</b>	<b>▲ 11,360</b>	<b>【財源】 国: 60,262、その他: 4,622、一財: 277,423</b>
1	人件費 一般職給与	90,923	93,400	▲ 2,477	一般職12人 90,923
2	中山間地域総合対策推進事業費	136,742	170,182	▲ 33,440	1 小さな拠点づくり(持続可能なコミュニティづくり)の推進費 73,626 2 小さな拠点づくり(生活機能・サービスの維持・確保)の推進費 9,387 3 中山間地域の産業振興費 53,729
3	中山間地域対策総合調整事業費	4,995	4,891	104	1 中国5県相互の連携事業費 3,114 2 中山間活性化基金積立金 572 3 公用車整備費 1,309
4	中山間地域研究センター事業費	39,622	35,819	3,803	1 調査研究事業費 20,939 2 成果普及事業費 18,683
5	地域の自主的・主体的活動への支援費	4,445	4,445	0	地域づくり活動推進費 4,445
6	特定地域振興法に関する事業の推進費	54,518	34,462	20,056	1 半島振興対策事業費 6,560 2 離島振興対策事業費 1,222 3 離島地域生活機能確保対策事業費 35,563 4 山村振興対策事業費 45 5 過疎地域対策事業費 856 6 豪雪地帯対策事業費 10 7 有人国境離島法に関する調査事業費 2,060 8 人口急減対策事業費 4,509 9 推進事務費 3,693
7	地域内経済循環促進事業費	5,223	4,799	424	地域内経済循環促進事業費 5,223
8	主要施策企画調整費、自治振興諸費	5,839	5,669	170	行政事務費 5,839

## 【債務負担行為】

### 中山間地域・離島振興課

(単位:千円)

No.	事項	期間	限度額
1	中山間地域の持続可能なコミュニティづくり推進事業費	令和8年度 ~ 令和9年度	3,000

# 中山間地域総合対策推進事業 (小さな拠点づくりの推進)

【中山間地域・離島振興課】

## 1. 事業概要

人口減少や高齢化の進む中山間地域においては、日常生活に必要な機能・サービスの確保が急務となっているため、これまで市町村と連携して取り組んできた地域実践活動の先進事例を横展開するなどして、公民館エリアを基本とした住民の合意形成による地域運営の仕組みづくりを継続しつつ、生活機能の確保に直結する取組については、行政がより関与しながら、旧市町村を基本単位として、生活機能の維持・確保を図るための対策を実施

## 2. 事業内容

### (1) 持続可能なコミュニティづくりの推進

地域住民の話し合いにより、生活機能の維持・確保するための実践活動が進められるよう、市町村と連携して地域運営の仕組みづくりを支援

#### ① 住民主体の議論の喚起 [予算額 2,800 千円 (R7 当初比 +601 千円)]

- ・地域の人口推計や先進事例等の県内の取組事例を紹介した「しまねの郷づくり応援サイト」による情報発信

#### ② 地域を支える人材の確保・育成

[予算額 12,661 千円 (R7 当初比 +99 千円)]

- ・地域づくりの担い手となる人材を育成する研修会等を開催
- ・集落支援員に対して助言等を行うアドバイザー派遣等を実施

#### ③ 生活機能の維持・確保に向けた具体的な取組の推進

[予算額 58,165 千円 (R7 当初比 ▲2,874 千円)]

- ・先進事例の横展開を図るなど、生活機能の確保に向けた実践活動の着手や充実等を支援
- ・地域外からの定住者を確保するため、空き家をお試し暮らし住宅等に改修する取組を支援

## (2) 生活機能・サービスの維持・確保

燃料など生活に欠かせない機能やサービスの維持・確保に取り組む市町村を支援

### ① 中山間地域の生活機能の維持・確保支援

[予算額 9,387 千円 (R7当初比 ▲2,219 千円)]

・市町村が支援する、中山間地域に設置されたガソリンスタンドの改修経費等を支援

## (3) 事業終了分

### ① 「しまねの郷づくり応援サイト」のリニューアル

[予算額 - (R7当初比 ▲12,000 千円)]

### ② 「小さな拠点づくりモデル地区」の取組の過疎対策事業債充当分(令和6年度)

[予算額 - (R7当初比 ▲19,540 千円)]

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 83,013千円 (R7当初比 ▲35,933千円)

# 中山間地域総合対策推進事業 (スモール・ビジネスの推進)

【中山間地域・離島振興課】

## 1. 事業概要

中山間地域の豊かな自然環境や特徴ある資源を活用して魅力ある商品やサービスを開発し、規模は小さくても、外貨を獲得する取組（スモール・ビジネス）を推進し、起業や創業、雇用創出等を促進

## 2. 事業内容

スモール・ビジネスに取り組む事業者の様々なニーズに対応するため、事業分野や取組の段階に応じた支援を実施

### (1) スモール・ビジネス育成支援プログラム

[予算額 31,229 千円 (R7当初比 +7,007 千円)]

- ・事業者が抱える商品コンセプトや販路開拓等の課題解決のための相談支援体制を構築
- ・専門家派遣による対面相談やオンライン講座により事業者の課題解決を支援
- ・地域運営組織の運営力強化（収益部分）を図るための相談支援を実施
- ・事業者の課題抽出や課題解決を行う講座を実施し、事業者自らが課題を解決する力の習得を促進
- ・道の駅・直売所等の販売機能を強化

### (2) スモール・ビジネス育成支援事業補助金【拡充】

[予算額 22,500 千円 (R7当初比 +5,000 千円)]

- ・事業者の商品力向上や商品の認知度向上に向けた取組に係る経費を助成
- ・市町村を通じた支援及び事業者への直接の支援を実施
- ・補助率を 1/2 から 2/3 に拡充

### (3) 事業終了分（道の駅等販売力強化支援事業）

[予算額 — (R7当初比 ▲9,514 千円)]

→スモール・ビジネス育成支援プログラムに統合・再編

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 53,729 千円 (R7当初比 +2,493 千円)

# 特定地域振興法に関する事業の推進 (特定地域づくり事業協同組合支援事業)

【中山間地域・離島振興課】

## 1. 事業概要

特定地域づくり事業協同組合における業務支援のため、各組合が抱える業務課題に対応する支援体制を構築

## 2. 事業内容

### (1) 特定地域づくり事業協同組合に対する相談窓口の設置

- ・特定地域づくり事業協同組合が抱える業務課題について、指導・助言を実施

### (2) 業務改善等に向けた取組の情報共有

- ・各組合の業務課題について共有し、課題解決を図るための意見交換会を開催

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 4,509千円 (R7当初比 ▲435千円)

# 地域内経済循環促進事業

【中山間地域・離島振興課】

## 1. 事業概要

地産地消等の推進により、地域内経済の循環を促進させることは、地域経済の活性化だけでなく、地域の商店などの生活機能の維持にもつながることから、地元産品の購入や県内での消費行動の拡大につながる、県民、生産者・事業者、行政で連携した取組を実施

## 2. 事業内容

### (1) 地産地消等による地域内経済循環促進事業

- ・ 県民や生産者・事業者等に対する、地産地消等地域での消費拡大に向けたキャンペーンの実施
- ・ 啓発リーフレット等の作成

## 3. 予算額

令和8年度当初予算 5, 223千円 (R7当初比 +424千円)

# 中山間地域の生活機能の維持確保支援施策

【中山間地域・離島振興課】

## 1. 事業概要

第6期中山間地域活性化計画に基づき、必要な生活機能を将来にわたり維持し、住民がサービスを利用できるよう、市町村と連携・協力して旧市町村単位の生活機能の維持・確保を図るための対策を実施

## 2. 中山間地域の生活機能の維持確保支援

### (1) 地域振興部

(単位:千円)

事業	事業内容	R8予算額 (R7当初比)	部局名
1 ガソリンスタンド存続のための改修費支援	<p>中山間地域のガソリンスタンドが廃止された場合、生活に必要な燃料確保に加え、地域産業の衰退の懸念や、防災上の備蓄燃料の確保等も困難となるなど、多方面に影響を及ぼすことになる。</p> <p>人口減少が進み、給油人口も減少していく中で、中山間地域の燃料確保が極めて困難となることを見込まれることから、市町村が支援するガソリンスタンドの改修経費等について、その一部を支援する。</p> <p>(1) 対象経費 ①地下タンクの漏洩防止工事 ②配送用タンクローリーの更新 ③計量機の更新</p> <p>(2) 補助率 1 か所目 市町村負担額の1/2 2 か所目 市町村負担額の1/3 (補助対象事業毎に補助上限額を設定)</p>	9,387 (▲2,219)	地域振興部 [中山間地域・離島振興課]
2 生活交通ネットワーク総合支援事業 (地域生活交通再構築事業)	<p>中山間地域において、輸送需要に応じた最適な交通手段の組み合わせによる地域生活交通の再構築を図るため、実証事業等に取り組む市町村を支援する。</p> <p>(1) 支援対象 立ち上がり支援</p> <p>(2) 補助対象 デマンド型バス・乗合タクシーや交通空白地有償運送等</p> <p>(3) 補助率 1/2</p>	35,000 (R7当初と同額)	地域振興部 [交通対策課]
計 (①)		44,387 (▲2,219)	

## (2) 他部局分

(単位:千円)

事業	事業内容	R8予算額 (R7当初比)	部局名
1	へき地医療拠点病院運営費補助金 特に医療サービスが不足している中山間地域(重点支援地区)において、地域医療拠点病院が新たに実施する「無医地区等における巡回診療」、「へき地診療所等への代診医派遣」、「オンライン診療」等の取組を支援する。 [補助率] 10/10 [負担割合] 国1/2、県1/2	49,634 (R7当初と同額)	健康福祉部 [医療政策課]
2	へき地診療所運営費補助金 へき地診療所の運営に必要な経費の一部を支援する。 [補助率] 2/3 [負担割合] 国10/10	99,000 (R7当初と同額)	健康福祉部 [医療政策課]
3	しまね型医療提供体制構築事業 地域医療構想を踏まえた設備整備について、救急や周産期など圏域唯一の機能を担う病院の維持に必要な設備整備を支援する。 [補助率] 2/3 [負担割合] 国2/3、県1/3	45,151 (▲208,775)	健康福祉部 [医療政策課]
4	医療機関の施設・設備整備事業 医療機関の設備整備について、中山間地域における医療サービスを確保及び維持するため、重点支援地区において無医地区等を支援する小規模の地域医療拠点病院を重点的に支援する。 [補助率] 10/10 [負担割合] 国1/2、県1/2	55,000 (R7当初と同額)	健康福祉部 [医療政策課]
5	重点医師偏在対策支援区域における診療所の承継・開業支援事業 「重点医師偏在対策支援区域」において、診療所医師が高齢化する中で、医師を確保するため、支援区域内で診療所を承継又は開業する場合の経費を支援する。 [補助率] 施設整備・設備整備 1/2 一定期間の定着支援 2/3 [負担割合] 国2/3、県1/3	190,422 (皆増)	健康福祉部 [医療政策課]
6	老人福祉施設整備事業 将来需要に基づく介護サービスの再編を伴う施設整備について、改築(建替え)に係る補助単価の引上げ等により、中山間地域・離島における必要なサービスの維持に向けた取組を支援する。	111,750 (皆増)	健康福祉部 [高齢者福祉課]
7	地域商業等支援事業 (買い物不便対策及び移動販売・宅配支援事業) 中山間地域における買い物不便対策等に取り組む事業者の開業等のために必要な経費を支援(中山間地域について補助率を嵩上げ)する。 [補助率] 県1/3(市町村負担額を上限)、市町村1/3	9,300 (R7当初と同額)	商工労働部 [中小企業課]
8	創業者向け資金繰り支援 中山間地域の創業者向け小口資金の保証料について全額を支援する。 [補助率] 県1/4、市町村1/4、信用保証協会1/2	6,000 (R7当初と同額)	商工労働部 [中小企業課]
計 (②)		566,257 (+93,397)	
合計 (①+②)		610,644 (+91,178)	

# 特定有人国境離島地域の地域社会維持推進施策

【中山間地域・離島振興課】

## 1. 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金事業

(単位:千円)

施策	概要	R8事業費	部局名
1 航路・航空路運賃の低廉化	<p>隠岐地域の住民等が継続的に居住できるよう、利用する航路及び航空路の運賃引下げを支援                      [負担割合] 国5.5/10、県2.25/10、町村2.25/10</p> <p>①航路運賃の低廉化                      隠岐航路の現行住民運賃をJR在来線並み(ジェットフォイルは特急指定席並み)に引下げ</p> <p>②航空路運賃の低廉化                      隠岐-出雲間の現行住民航空路運賃を新幹線並みに引下げ</p>	<p>【県事業名】                      特定有人国境離島地域社会維持推進交付金事業</p> <p>事業費 500,648                      (うち県予算388,001)</p>	<p>地域振興部                      [交通対策課]</p>
2 輸送コストの低廉化	<p>隠岐地域での農水産品(加工品以外)の出荷や原材料等の海上輸送又は航空輸送にかかる費用の低廉化を支援                      [負担割合] 国6/10、町村2/10、事業者2/10</p> <p>※農水産品以外は、離島活性化交付金により支援                      [負担割合] 国6/10、町村2/10、事業者2/10</p>	—	<p>地域振興部                      [中山間地域・離島振興課]</p>
3 滞在型観光の促進	<p>隠岐地域での滞在型旅行商品の開発等の取組を支援                      [負担割合] 国5.5/10、県2.25/10、町村2.25/10                      [事業内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊と体験メニューのセット利用でフェリーの復路乗船券が無料となる企画乗船券を販売</li> <li>・隠岐空港発着の航空機を利用した滞在型旅行商品の造成及び販売支援</li> <li>・滞在型観光メニューの企画、開発</li> <li>・地域が連携し、宿泊関連サービスの提供に取組む「分散型ホテル事業」の企画、開発</li> </ul>	<p>【県事業名】                      特定有人国境離島地域滞在型観光推進事業</p> <p>事業費 123,590                      (うち県予算 95,779)</p>	<p>商工労働部                      [観光振興課]</p>
4 雇用機会の拡充	<p>①雇用機会拡充事業                      隠岐地域での雇用機会の拡充に寄与する創業又は事業拡大を行う民間事業者を支援                      [負担割合] 国1/2、県1/8、町村1/8、事業者1/4                      [交付対象経費]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード事業 設備費、改修費</li> <li>・ソフト事業 広告宣伝費、店舗等借入費、人件費、従業員の移住経費等</li> </ul> <p>②雇用充足促進事業                      隠岐地域の民間事業者と本土の人とのマッチング等を目的とし、就労体験や住民との交流等を行うツアーの造成等を支援                      [負担割合] 国5.5/10、県2.25/10、町村2.25/10</p> <p>③分散型ホテル支援事業                      分散型ホテル事業と連携して雇用機会の拡充に寄与する創業又は事業拡大を行う民間事業者を支援                      [負担割合] 国1/2、県1/8、町村1/8、事業者1/4                      [交付対象経費]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード事業 設備費、改修費</li> <li>・ソフト事業 店舗等借入費、人件費等</li> </ul>	<p>【県事業名】                      特定有人国境離島地域創業・事業拡大支援事業</p> <p>事業費 485,296                      (うち県予算 300,952)</p>	<p>商工労働部                      [中小企業課]</p>
合計		<p>事業費 1,109,534                      (うち県予算 784,732)</p>	

## 2. 関連事業

### (1) 生活機能の確保に関する事業

(単位:千円)

事業名	概要	R8予算額	部局名
1 離島地域生活機能確保対策事業 (隠岐島油槽所タンク開放工事支援事業)	<p>隠岐地域における石油製品の安定供給体制を維持するため、平成21年度に整備した隠岐島油槽所の開放工事(大規模改修)に係る経費の一部を支援</p> <p>①補助対象事業 隠岐島油槽所タンク開放工事</p> <p>②事業期間 令和5年度～令和7年度</p> <p>③事業費 440百万円</p> <p>④補助率 開放工事に要する財源として借り入れる過疎債の元利償還額(実負担)に対し1/2を補助</p>	15,297 (R7年度事業分)	地域振興部 [中山間地域・離島振興課]
2 離島地域生活機能確保対策事業費 (知夫村救急患者輸送船整備支援事業)	<p>離島住民の生活を支えるため、平成7年度に整備した救急患者輸送船の更新に係る経費の一部を支援</p> <p>①補助対象事業 知夫村救急患者輸送船整備支援事業</p> <p>②事業期間 令和6年度～令和7年度</p> <p>③事業費 195百万円</p> <p>④補助率 船艇の建造に要する財源として借り入れる辺地債の元利償還額(実負担)に対し1/2を補助</p>	20,266 (R7年度事業分)	

# 令和8年度 当初予算 一般会計

【歳出】

(単位:千円)

課名		R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)-(B)	R8当初(A)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>市町村課</b>		<b>956,608</b>	<b>1,258,430</b>	<b>▲ 301,822</b>	<b>【財源】 国:301、その他:354,978、一財:601,329</b>
1	人件費 一般職給与	135,238	123,702	11,536	一般職19人 135,238
2	人件費 委員報酬	3,695	3,638	57	特別職4人 3,695
3	市町村行政運営支援事業費	9,763	9,986	▲ 223	市町村行財政指導費 9,763
4	市町村財政運営支援事業費	92,895	97,026	▲ 4,131	1 交付税算定事務電算処理事業費 1,849 2 地方公共団体金融機構資金貸付実態調査費 850 3 しまね市町村総合交付金 88,096 4 水道広域化事業費 2,100
5	市町村振興対策事業費	354,128	350,041	4,087	市町村振興交付金 354,128
6	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業費	62,988	60,379	2,609	住民基本台帳ネットワークシステム運用管理費 62,988
7	市町村職員人材育成支援事業費	135	135	0	地方自治研究機構負担金 135
8	公職選挙管理執行事業費(常時)	759	780	▲ 21	1 選挙管理委員会費 636 2 在外選挙人名簿事務委託費 123
9	明るい選挙推進事業費(常時啓発)	3,664	3,664	0	1 明るい選挙推進協議会活動事業費 2,003 2 青年選挙啓発事業費 753 3 ポスターコンクール実施経費 908
10	政治資金等公表事業費	4,407	4,186	221	1 政治資金規正法事務費 735 2 政党助成法事務費 3,672
11	公職選挙管理執行事業費(知事・県議会議員選挙)	271,482	0	271,482	1 選挙長事務費 16 2 選挙公営事務費 25,248 3 選挙管理執行経費 246,218
12	明るい選挙推進事業費(知事・県議会議員選挙臨時啓発費)	8,577	0	8,577	臨時啓発経費 8,577
13	公職選挙管理執行事業費(参議院議員通常選挙)	0	593,943	▲ 593,943	
14	明るい選挙推進事業費(参議院議員通常選挙)	0	2,332	▲ 2,332	
15	自治振興諸費、選挙啓発諸費	8,877	8,618	259	行政事務費 8,877

# 令和8年度 当初予算 一般会計

【歳出】

(単位:千円)

課名		R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)－(B)	R8当初(A)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>交通対策課</b>		<b>3,788,527</b>	<b>2,887,095</b>	<b>901,432</b>	【財源】 国:499,220、県債:104,800、一財:3,184,507
1	人件費 一般職給与	148,395	135,753	12,642	一般職17人 148,395
2	生活交通ネットワーク総合支援事業費	517,205	471,038	46,167	1 生活交通ネットワーク総合支援事業費 512,641 2 生活交通ネットワーク推進事業費 4,564
3	地域生活交通の担い手確保促進事業費	58,560	57,500	1,060	地域生活交通の担い手確保促進事業費 58,560
4	原子力災害時等における避難車両の維持・確保事業費	15,343	15,152	191	避難車両維持・確保事業費 15,343
5	一畑電車運行維持事業費	574,985	277,469	297,516	1 一畑電車運行維持費補助金 574,480 2 沿線地域対策協議会負担金 505
6	JR線利用促進事業費	11,988	10,602	1,386	1 木次線活用推進協議会補助金 8,569 2 山陰本線利用促進事業費 2,559 3 山口線利用促進協議会補助金 700 4 島根県鉄道整備連絡調整協議会負担金 160
7	三江線沿線地域公共交通活性化事業費	400	487	▲ 87	三江線沿線地域公共交通活性化協議会負担金 400
8	新幹線等の整備促進事業費	150	150	0	中国横断新幹線整備促進島根県期成同盟会負担金 150
9	運輸事業振興助成事業費	100,072	107,508	▲ 7,436	運輸事業振興助成補助金 100,072
10	隠岐航路運航維持事業費	414,085	376,413	37,672	1 隠岐航路運航支援交付金 17,432 2 隠岐航路運航支援費(しまね市町村総合交付金) 79,476 3 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金(航路運賃低廉化) 316,559 4 隠岐航路運航維持事業費 618
11	出雲縁結び空港路線維持事業費	70,927	72,157	▲ 1,230	1 出雲縁結び空港利用促進事業費補助金 37,060 2 出雲縁結び空港利用促進事務費 1,217 3 FDA機体を活用したPR事業費 32,650
12	出雲縁結び空港周辺対策事業費	1,475,736	942,426	533,310	出雲縁結び空港周辺対策事業費 1,475,736

【歳出】

(単位:千円)

課名		R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)-(B)	R8当初(A)財源内訳等
No.	議案事業				
13	萩・石見空港路線維持事業費	226,886	201,958	24,928	1 萩・石見空港利用促進事業費補助金 222,312 2 萩・石見空港利用促進事業費 4,574
14	隠岐世界ジオパーク空港路線維持事業費	8,500	10,000	▲ 1,500	1 隠岐世界ジオパーク空港利用促進事業費補助金 8,000 2 隠岐世界ジオパーク空港利用促進事業費 500
15	離島航空路線運航費補助事業費	74,573	67,188	7,385	1 離島航空路運航費補助金 3,131 2 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金(航空路運賃低廉化) 71,442
16	海外航空路開拓事業費	65,400	39,383	26,017	1 国際チャーター便支援事業費 60,000 2 海外航空路開拓事業費 5,400
17	航空ネットワーク推進事業費	4,126	3,926	200	航空ネットワーク推進事業費 4,126
18	交通事故相談所運営事業費	9,953	9,409	544	交通事故相談所運営事業費 9,953
19	交通安全推進事業費	6,113	6,113	0	1 交通安全啓発事業費 2,885 2 交通安全運動推進事業費 2,744 3 交通安全計画策定事業費 484
20	貨物自動車運送事業者に対する燃料費緊急支援事業費	0	77,482	▲ 77,482	
21	主要施策企画調整費、交通安全対策費	5,130	4,981	149	行政事務費 5,130

【債務負担行為】

交通対策課

(単位:千円)

No.	事項	期間	限度額
1	地域生活交通の担い手確保促進事業費	令和9年度～令和14年度	21,150
2	地域生活交通の担い手確保促進事業費	令和9年度	7,000
3	萩・石見空港路線維持事業費	令和9年度	104,156

# 生活交通ネットワーク総合支援事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

幹線交通から集落間交通まで、バス事業者・市町村・NPO等による地域生活交通を確保する取組を総合的に支援

## 2. 事業内容

- (1) 地域間幹線系統確保維持費補助金 [予算額 114,107 千円 (R7当初比 +725 千円)]  
バス事業者による広域的・基幹的なバス路線の維持に対し、国と協調して支援  
[対象経費] 運行経費及び車両減価償却費  
[助成率] 1/2
- (2) 地域間準幹線系統確保維持費補助金 [予算額 63,820 千円 (R7当初比 +10,472 千円)]  
バス事業者による複数市町村に跨るバス路線の維持に対し、県と市町村で支援  
[対象経費] 運行経費  
[助成率] 1/2
- (3) 生活交通確保対策交付金 [予算額 299,714 千円 (R7当初比 +34,760 千円)]  
市町村やNPO等が行う交通空白地有償運送等に対し、市町村の財政規模に応じて支援  
[対象経費]
  - ① 運行経費
  - ② 路線バス等の代替として実施するタクシー利用助成[助成率] ① 1/3、② 1/2
- (4) 地域生活交通再構築事業補助金 [予算額 35,000 千円 (R7当初と同額)]  
中山間地域において、輸送需要に応じた最適な交通手段の組み合わせによる地域生活交通の再構築を図るため、実証事業等に取り組む市町村を支援  
[助成率] 1/2

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 517,205千円 (R7当初比 +46,167千円)

# 地域生活交通の担い手確保促進事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

運転手不足を一因としたバス路線の廃止、減便が生じる厳しい状況を踏まえ、市町村や交通事業者と連携・協力し、運転手確保の取組を実施

(対象事業者)

- ・ 路線バス運行事業者
  - ・ 市町村からコミュニティバス等の運行を受託するタクシー事業者等
- ※ いずれも道路運送法第4条の許可を受ける事業者（松江市交通局除く）

## 2. 事業内容

(1) 労働環境の改善支援 [予算額 19,000 千円 (R7当初と同額)]

債務負担行為 [期間] 令和9年度～令和14年度 [限度額] 21,150 千円

① 運転手が利用する休憩室や更衣室等の施設・設備の整備費を助成

[助成率] 1/2

[助成上限額] 100 万円

② 新規採用の運転手を対象に、家賃相当額の一部を支援

[対象者] R7.4.1以降に採用された運転手（新規受付はR9年度まで）

[支給額] 1～2年目 3万円/月

3～4年目 2万円/月

5～6年目 1万円/月

(2) 採用活動支援 [予算額 18,980 千円 (R7当初比 +30 千円)]

交通事業者の積極的な採用活動を促すため、交通事業者向けの採用力向上セミナーの開催や、ホームページ制作やオンライン面接の環境整備などの採用活動に要する経費の一部を助成

(3) 採用後の人材育成支援 [予算額 20,580 千円 (R7当初比 +1,030 千円)]

債務負担行為 [期間] 令和9年度 [限度額] 7,000 千円

① 運転手の育成支援のため、国庫補助事業を活用した二種免許取得に要する経費の一部を助成

[助成率] 1/2

[助成上限額] 25 万円/人

② 新たに運転手を採用し、6か月以上継続して雇用する事業者に対し、人材育成に係る支援金として、1人あたり20万円を支給

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 58,560 千円 (R7当初比 +1,060 千円)

# 隠岐航路運航維持事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

隠岐島民の生活を支え、地域振興に不可欠な隠岐の海上交通確保を図るため、船舶の導入や運航に要した経費の一部を助成

## 2. 事業内容

### (1) 船舶の導入に対する支援 [予算額 17,432 千円 (R7当初比 ▲1,465 千円)]

以下の船舶導入に要する財源として、隠岐4町村が借り入れた過疎対策事業債の毎年度の元利償還金の一部を助成

- ・超高速船レインボージェット導入 (H24～R8) 1,866 千円
- ・フェリー「しらしま」後継船建造 (R6～R21) 15,566 千円

### (2) 船舶の運航に対する支援 [予算額 79,476 千円 (R7当初比 +39,137 千円)]

前年度の実績に基づき、しまね市町村総合交付金として翌年度交付

- ・超高速船運航支援 56,189 千円

隠岐広域連合が運航する超高速船レインボージェットの指定管理料の一部を助成 (運航主体：隠岐汽船株)

- ・島前内航船運航支援 23,287 千円

島前町村組合が運航する島前内航船「フェリーどうぜん」及び「いそかぜ」の運航経費の一部を助成

### (3) 島前内航船「フェリーどうぜん」後継船の導入に対する支援【制度創設】

後継船の建造に要する財源として、島前3町村が借り入れる過疎対策事業債の元利償還額の実負担 (30%) に対し 2/3 を助成 (R9当初予算にて債務負担行為を設定)

- ・想定事業費：9.5 億円
- ・建造スケジュール  
R9～10年度：船舶の設計・建造  
R10年度：竣工・就航

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 96,908千円 (R7当初比 +37,672千円)

# J R木次線、山陰本線利用促進事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

人口減少等の影響による鉄道利用者減少に歯止めをかけるため、地元協議会が実施する利用促進などの取組に対する支援等を実施

## 2. 事業内容

### (1) J R木次線利用促進事業 [予算額 8,569 千円 (R7当初比 +417 千円)]

学校や町内会などの団体が木次線乗車を伴う移動をした場合に、J R運賃・貸切バス運賃等の一部を助成

[助成対象経費] J R運賃、貸切バス運賃等 (3名以上の県内外者の団体旅行)

[助成率] 1/2 (助成上限額: 1件あたり 10万円)

[負担割合] 県 2/3、関係市町 1/3 (雲南市、奥出雲町)

### (2) J R木次線を活用した観光誘客事業 [観光振興課]

[予算額 20,199 千円 (R7当初と同額)]

県内外の観光客を対象とした木次線乗車を組み込んだツアーの造成・販売を支援

[負担割合] 県 10/10

### (3) 山陰本線利用促進事業 [予算額 2,559 千円 (R7当初比 +649 千円)]

① 県庁職員出張時のJ R利用促進を図るためレンタカー等利用環境を整備

② 山陰本線 (下関ー益田間) 利用促進協議会への助成

③ 山陰本線 (益田ー出雲市間) 利用促進協議会 (仮称) への助成

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 31,327千円 (R7当初比 +1,066千円)

# 出雲縁結び空港路線維持事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

出雲縁結び空港の路線維持・充実を図るため、「21世紀出雲空港整備利用促進協議会※」と連携した利用促進対策を実施

※会長：出雲市長、会員：関係市町、関係市町議会、商工団体、企業 等

## 2. 事業内容

各路線の利用促進に向けた旅行商品造成支援やPR等を実施

### (1) 既存路線対策 [予算額 14,650千円 (R7当初比 +1,415千円)]

- ・既存路線の更なる利用率向上に向けた、利用促進対策及び路線PR等を実施

### (2) 新規路線・復便路線対策 [予算額 22,410千円 (R7当初比 ▲1,775千円)]

- ・GW期間(4/29～5/10)に1往復運航する静岡線の県内向けPR等を実施
- ・新規路線の開設等に向けた、PR活動等を実施

### (3) その他 [予算額 33,867千円 (R7当初比 ▲870千円)]

- ・全国各地で運航するFDAの機体を活用した島根県の観光PRを実施(「しまねっこ号」の通年運航)等

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 70,927千円 (R7当初比 ▲1,230千円)

# 海外航空路開拓事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

海外からの観光誘客等を図るため、県内空港を利用する国際チャーター便の運航を支援

## 2. 事業内容

国際定期便就航に向けた覚書を締結したベトナム航空によるチャーター便など、国際チャーター便の運航に対して支援するとともに、アウトバウンド促進など県内の機運醸成等を図るほか、チャーター便の円滑な受入のための体制整備を実施

### (1) 航空会社や旅行会社に対する支援

[予算額 41,900 千円 (R7当初比 +17,000 千円)]

- ・チャーター便を運航する航空会社に対して、着陸料等を助成
- ・チャーター便を利用したツアーを実施する旅行会社に対して、宿泊料等を助成

### (2) アウトバウンド対策や受入体制整備等

[予算額 23,500 千円 (R7当初比 +9,017 千円)]

- ・アウトバウンド促進のため、機運醸成を図るための取組等を実施
- ・グランドハンドリングや保安検査の要員確保に対する支援
- ・計画的にグランドハンドリング等人材の確保に取り組む企業を支援

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 65,400 千円 (R7当初比 +26,017 千円)

(参考) ベトナム航空との覚書に基づくチャーター第4便について

【日程等】

- ・日程：令和8年4月29日(水)～5月3日(日)
- ・運航ダイヤ：(両日とも同じ)

ハノイ	3:10発	出雲	9:30着
出雲	11:30発	ハノイ	14:20着

(いずれも現地時間)

# 萩・石見空港路線維持事業

【交通対策課】

## 1. 事業概要

東京線2便運航や大阪線の継続に向け、今後の安定的な需要創出につながるよう、関係機関と連携した利用促進対策を実施

## 2. 事業内容

### (1) 萩・石見空港利用促進事業【拡充】 [予算額 222,312 千円 (R7当初比 +24,000 千円)]

萩・石見空港利用拡大促進協議会（事務局：益田市）が実施する利用促進策を支援

[拡充内容]

首都圏のメディア系大手旅行会社による旅行商品造成への支援を拡充

- ① 旅行会社が確保した席数実績に応じた助成単価の設定
- ② 羽田空港を午後に出発する便等を活用した商品の助成単価の引き上げ

### (2) 県内航空路線利用促進（観光振興）事業

[予算額 97,530 千円 (R7当初比 +5,000 千円)]

観光誘客や石見地域の観光魅力づくりを推進

[観光振興課]

### (3) 政策課題への対応

[予算額 49,115 千円 (R7当初比 +7,530 千円)]

政策課題への取組により、安定的な需要を創出

(単位：千円)

内容	予算額	所管課
①地域との交流や地域活動を行うツアーの実施	3,260	しまね暮らし推進課
②グラントワを活用したイベントの開催	15,790	文化国際課
③県外企業を対象とした石見臨空ファクトリーパーク等の工業団の視察ツアーの開催	14,556	企業立地課
④中山間地域の高校をめぐるバスツアーの実施	2,595	教育連携推進課
⑤県内の歴史スポットをめぐるバスツアーの実施	6,610	文化財課
⑥県産品の販路拡大に向け、首都圏のバイヤーや飲食店を対象とする石見地域の視察ツアーを開催【新規】	6,304	しまねブランド推進課

## 3. 予算額

令和8年度当初予算額 368,957千円 (R7当初比 +36,530千円)

【第7号議案】

令和8年度島根県市町村振興資金特別会計予算  
(令和8年度当初予算)

(単位:千円)

課名	R8当初(A)	R7当初(B)	比較増減 (A)-(B)	(A)/(B)
市町村課	5,720,732	5,881,192	▲ 160,460	97.27%

# 令和8年度 当初予算 島根県市町村振興資金特別会計

## 市町村課

### 【歳入】

(単位:千円)

款	項	R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)-(B)	備 考
<b>1.</b>	<b>市町村振興資金収入</b>	<b>5,720,732</b>	<b>5,881,192</b>	<b>▲ 160,460</b>	
	1. 諸収入	306,613	303,022	3,591	貸付金元利収入
	3. 繰越金	5,414,119	5,578,170	▲ 164,051	

### 【歳出】

(単位:千円)

款	項	R8当初 (A)	R7当初 (B)	比較 (A)-(B)	備 考
<b>1.</b>	<b>市町村振興資金</b>	<b>5,720,732</b>	<b>5,881,192</b>	<b>▲ 160,460</b>	
	1. 総務費	1,925	17,038	▲ 15,113	貸付総務費
	2. 市町村振興資金貸付金	800,000	800,000	0	
	4. 一般会計繰出金	300,000	400,000	▲ 100,000	
	5. 予備費	4,618,807	4,664,154	▲ 45,347	

【第1号議案】

令和7年度島根県一般会計補正予算(第11号) [関係分]

(令和7年度2月補正予算・2月12日提案分)

[ 地 域 振 興 部 ]

【歳出】

(単位:千円)

課 名	補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)
地域政策課	564,912	0	564,912
しまね暮らし推進課	1,363,841	0	1,363,841
中山間地域・離島振興課	352,793	0	352,793
市町村課	1,966,416	0	1,966,416
交通対策課	2,929,546	135,000	3,064,546
地域振興部 計	7,177,508	135,000	7,312,508

# 令和7年度 2月補正予算 一般会計

## 【歳出】

(単位:千円)

課名		補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	補正額計(B)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>交通対策課</b>		<b>2,929,546</b>	<b>135,000</b>	<b>3,064,546</b>	【財源】国:67,500、一財:67,500
1	一畑電車運行維持事業費	277,469	135,000	412,469	一畑電車運行維持事業 135,000

## 【繰越明許費】(追加)

### 交通対策課

(単位:千円)

No.	事業名	令和8年度への繰越額	内容など (令和7年度補正(第11号)後の予算額)-(令和7年度支出見込額)
1	一畑電車運行維持事業費	135,000	国の経済対策と連動した事業を実施するため 412,469 - 277,469

## 【債務負担行為】(追加)

### 交通対策課

(単位:千円)

No.	事項	期間	限度額
1	萩・石見空港路線維持事業費	令和7年度～令和10年度	82,954

## 萩・石見空港路線維持事業（東京線2便化支援）

【交通対策課】

### 1. 事業概要

「1日2往復運航が行われる中で、年間の有償旅客数が14.5万人を下回った場合、不足に応じた額を地元（県及び萩・石見空港利用拡大促進協議会の幹事市町※）と航空会社で折半するリスク分担の覚書」を島根県、萩・石見空港利用拡大促進協議会、航空会社の三者で締結 ※幹事市町は、益田市、浜田市、江津市、津和野町、吉賀町

次期覚書（令和8年3月29日～令和9年3月27日）の締結に向けて、債務負担行為を設定

### 2. 債務負担行為の設定

[期間] 令和7年度～令和10年度

[限度額] 82,954千円

(参考1) リスク分担制度

項目	年間有償旅客数	負担額
関係自治体の負担	119,251人～145,000人	負担上限額 206,000千円
うち県負担	138,001人～145,000人	最大負担額 56,000千円
うち市町負担	119,251人～138,000人	最大負担額 150,000千円 (市町負担に伴う県から市町への最大助成額 26,954千円※)

※県は、地元市町が負担分として発行する過疎対策事業債（ソフト分）の元利償還額の実負担（30%）の1/2を後年度に助成（一般財源による場合、負担額の15%を助成）

(参考2) 萩・石見空港東京線の利用者数

						(単位：人)
	4～6月	7～9月	10～12月	1月	1月末計	年度計
R6年度利用者	32,228	35,098	37,831	9,649	114,806	135,694
R7年度利用者	31,235	38,645	41,473	10,675	122,028	-
増減	▲ 993	3,547	3,642	1,026	7,222	-

※第2四半期以降、大手旅行会社と連携した積極的な誘客対策を実施し、利用者が増加

※政策コンテストに掲げるR7年度目標値 149,000人

【第53号議案】

令和7年度島根県一般会計補正予算(第12号) [関係分]

(令和7年度2月補正予算・3月4日提案分)

[ 地域振興部 ]

【歳出】

(単位:千円)

課名	補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)
地域政策課	564,912	▲ 6,062	558,850
しまね暮らし推進課	1,363,841	▲ 62,195	1,301,646
中山間地域・離島振興課	352,793	▲ 57,324	295,469
市町村課	1,966,416	▲ 92,284	1,874,132
交通対策課	3,064,546	▲ 281,644	2,782,902
地域振興部 計	7,312,508	▲ 499,509	6,812,999

# 令和7年度 2月補正予算 一般会計

【歳出】

(単位:千円)

課名		補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	補正額計(B)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>地域政策課</b>		<b>564,912</b>	<b>▲ 6,062</b>	<b>558,850</b>	【財源】 使手:▲3,762、寄分:18,000、その他:▲73、 一財:▲20,227
1	人件費 一般職給与	152,868	300	153,168	一般職16人 地域政策課 300
2	人件費 一般職給与	225,139	357	225,496	一般職26人 中山間地域研究センター 357
3	中山間地域研究センター管理運営事務費	50,941	▲ 556	50,385	1 管理運営費 14 2 一般管理費 620 3 施設等維持管理費 ▲ 1,190
4	デジタル戦略推進事業費	90,283	▲ 5,806	84,477	1 デジタル戦略推進事業費 ▲ 1,093 2 市町村デジタル化支援事業費 ▲ 1,237 3 地域社会デジタル化推進事業費 ▲ 3,476
5	国庫支出金返還金	88	▲ 73	15	国庫支出金返還金 ▲ 73
6	企画諸費、主要施策企画調整費、自治振興諸費、行政情報化推進諸費	35,249	▲ 284	34,965	行政事務費、地域振興諸費等 ▲ 284

# 令和7年度 2月補正予算 一般会計

【歳出】

(単位:千円)

課名		補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	補正額計(B)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>しまね暮らし推進課</b>		<b>1,363,841</b>	<b>▲ 62,195</b>	<b>1,301,646</b>	【財源】 国:▲27,464、その他:▲19,760、 一財:▲14,971
1	人件費 一般職給与	79,991	331	80,322	一般職10人 331
2	ふるさと島根定住推進事業費	606,115	▲ 3,343	602,772	1 UIターンしまね推進事業費 ▲ 1,764 2ふるさと島根定住財団関係経費 ▲ 1,579
3	しまね関係人口・移住促進事業費	123,509	▲ 347	123,162	1 関係人口開拓事業費 3,773 2 関係人口の受入事業費 ▲ 4,294 3 しまね田舎ツーリズム推進事業費 174
4	わくわく島根生活実現支援事業費	114,535	▲ 39,564	74,971	移住支援金交付事業費 ▲ 39,564
5	地域の自主的・主体的活動への支援費	25,178	▲ 3,733	21,445	1 地域づくり活動推進費 ▲ 138 2 地域の活力創出支援事業費 ▲ 3,595
6	県立しまね海洋館管理運営事業費	404,329	▲ 15,539	388,790	しまね海洋館アクアスの管理運営費 ▲ 15,539

# 令和7年度 2月補正予算 一般会計

【歳出】

(単位:千円)

課名		補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	補正額計(B)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>中山間地域・離島振興課</b>		<b>352,793</b>	<b>▲ 57,324</b>	<b>295,469</b>	【財源】 国:▲30,171、寄分:2,000、県債:▲100、 その他:13、一財:▲29,066
1	人件費 一般職給与	90,330	▲ 389	89,941	一般職12人 ▲ 389
2	中山間地域総合対策推進事業費	171,181	▲ 46,609	124,572	1 小さな拠点づくりの推進費(持続可能なコミュニティづくり)の推進費 ▲ 40,832 2 小さな拠点づくり(生活機能・サービスの維持・確保)の推進費 ▲ 5,278 3 中山間地域の産業振興費 ▲ 499
3	中山間地域対策総合調整事業費	4,891	▲ 194	4,697	中国5県相互の連携事業費 ▲ 194
4	中山間地域研究センター事業費	36,815	▲ 1	36,814	調査研究事業費 ▲ 1
5	地域の自主的・主体的活動への支援費	4,445	▲ 500	3,945	地域づくり活動推進費 ▲ 500
6	特定地域振興法に関する事業の推進費	34,663	▲ 9,788	24,875	1 半島振興対策事業費 ▲ 2,765 2 離島地域生活機能確保対策事業費 ▲ 335 3 有人国境離島法に関する調査事業費 ▲ 3,075 4 人口急減対策事業費 ▲ 3,613
7	国庫支出金返還金	0	157	157	国庫支出金返還金 157

# 令和7年度 2月補正予算 一般会計

【歳出】

(単位:千円)

課名		補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	補正額計(B)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>市町村課</b>		<b>1,966,416</b>	<b>▲ 92,284</b>	<b>1,874,132</b>	【財源】 国: ▲42,672、その他: ▲30,129、 一財: ▲19,483
1	人件費 一般職給与	132,441	▲ 1,151	131,290	一般職19人 ▲ 1,151
2	市町村行政運営支援事業費	10,188	▲ 3,656	6,532	市町村行財政指導費 ▲ 3,656
3	市町村財政運営支援事業費	97,026	▲ 6,467	90,559	1 地方公共団体金融機構資金貸付実態調査費 183 2 しまね市町村総合交付金 ▲ 5,750 3 水道広域化事業費 ▲ 900
4	市町村振興対策事業費	350,041	▲ 30,312	319,729	市町村振興交付金 ▲ 30,312
5	住民基本台帳ネットワークシステム運営事業費	60,379	▲ 7,345	53,034	住民基本台帳ネットワークシステム運用管理費 ▲ 7,345
6	公職選挙管理執行事業費(常時)	780	▲ 166	614	選挙管理委員会費 ▲ 166
7	明るい選挙推進事業費(常時啓発)	3,664	▲ 502	3,162	1 明るい選挙推進協議会活動事業費 ▲ 426 2 青年選挙啓発事業費 ▲ 76
8	政治資金等公表事業費	4,388	▲ 13	4,375	政治資金規正法事務費 ▲ 13
9	公職選挙管理執行事業費(参議院議員通常選挙)	593,943	▲ 42,670	551,273	1 選挙長事務費 ▲ 483 2 選挙公営事務費 ▲ 43,150 3 選挙管理執行経費 963
10	明るい選挙推進事業費(参議院議員通常選挙)	2,332	▲ 2	2,330	臨時啓発経費 ▲ 2

# 令和7年度 2月補正予算 一般会計

## 【歳出】

(単位:千円)

課名		補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	補正額計(B)財源内訳等
No.	議案事業				
<b>交通対策課</b>		<b>3,064,546</b>	<b>▲ 281,644</b>	<b>2,782,902</b>	【財源】国:▲16,648、県債:▲203,100、 一財:▲61,896
1	人件費 一般職給与	144,048	▲ 1,394	142,654	一般職17人 ▲ 1,394
2	生活交通ネットワーク総合支援事業費	471,239	▲ 38,317	432,922	生活交通ネットワーク総合支援事業費 ▲ 38,317
3	地域生活交通の担い手確保促進事業費	57,500	▲ 30,975	26,525	地域生活交通の担い手確保促進事業費 ▲ 30,975
4	原子力災害時等における避難車両の維持・確保事業費	15,152	▲ 1,472	13,680	避難車両維持・確保事業費 ▲ 1,472
5	隠岐航路運航維持事業費	376,413	▲ 4,616	371,797	1 隠岐航路運航支援交付金 ▲ 887 2 隠岐航路運航支援費(しまね市町村総合交付金) ▲ 3,729
6	出雲縁結び空港周辺対策事業費	942,426	▲ 191,805	750,621	出雲縁結び空港周辺対策事業費 ▲ 191,805
7	萩・石見空港路線維持事業費	225,958	1,910	227,868	萩・石見空港利用促進事業費 1,910
8	離島航空路線運航費補助事業費	76,392	▲ 2,534	73,858	離島航空路運航費補助金 ▲ 2,534
9	貨物自動車運送事業者に対する燃料費緊急支援事業費	77,482	▲ 12,441	65,041	貨物自動車運送事業者に対する燃料費緊急支援事業費 ▲ 12,441

## 【繰越明許費】(追加分)

### 交通対策課

(単位:千円)

No.	事業名	令和8年度への繰越額	内容など (令和7年度補正(第12号)後の予算額)-(令和7年度支出見込額)
1	出雲縁結び空港周辺対策事業費	94,204	地元協議の結果、当初計画に変更が生じたため 750,621-656,417

## 【債務負担行為】(追加分)

### 交通対策課

(単位:千円)

No.	事項	期間	限度額
1	隠岐航路運航維持事業費	令和8年度～令和21年度	61,119

【第57号議案】

令和7年度島根県市町村振興資金特別会計補正予算(第2号)  
(令和7年度2月補正予算・3月4日追加提案分)

(単位:千円)

課名	補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)
市町村課	6,624,928	0	6,624,928

# 令和7年度 2月補正予算 島根県市町村振興資金特別会計

市町村課

【歳出】

(単位:千円)

款	補正前の額 (A)	補正額 (B)	補正後の額 (A)+(B)	備 考
項				
<b>1. 市町村振興資金</b>	<b>6,624,928</b>	<b>0</b>	<b>6,624,928</b>	
1. 総務費	17,038	▲ 6,229	10,809	貸付総務費
5. 予備費	5,407,890	6,229	5,414,119	

## 一畑電車新造車両の導入について

### 1. 経緯等

一畑電車では「一畑電車支援計画」に基づき、令和6年度から令和8年度にかけて、4両の新造車両を順次導入することにしており、来年度導入する車両は、観光客の来訪促進を目指し、JR九州の「ななつ星 in 九州」など数多くの鉄道デザインを手掛ける水戸岡鋭治氏によるデザインとなることが発表された。

### ○新造車両の概要

車両名称：「天叢雲（あめのむらくも）」

導入時期：令和8年11月

事業費：858百万円（R8当初予算ベース）

※国：376.2百万円、県：240.9百万円、松江市：84.3百万円、出雲市：156.6百万円

※国庫補助制度（鉄道事業再構築事業）を活用予定（補助率1/2）

（参考）水戸岡 鋭治（みとおか えいじ）氏

JR九州の「ななつ星 in 九州」や新幹線800系「つばめ」、  
特急「ソニック」など、数多くの鉄道車両や駅舎のデザインを手がける

### 2. 新造車両の活用方法

観光車両として、地元食材を活用した軽食やスイーツを提供する企画など、沿線地域の魅力発信を担うとともに、通勤、通学時間帯の運行など地域交通としての役割も担う。

（参考）新造車両の導入状況

[導入時期・車両数]

令和7年 3月 1両

令和7年10月 1両（台湾ラッピング）

令和8年11月 2両（水戸岡氏デザイン）

[事業費]

418百万円

418百万円

858百万円

(空白ページ)

縁結びの神々が宿る  
「あめのむらくも」

デザインとものがたり  
AMENOMURAKUMO

# 天 叢 雲

あ  
め  
の  
む  
ら  
く  
も

## 水戸岡鋭治氏のプロフィール



Photo by  
Shintaro Shiratori

水戸岡鋭治（みとおかえいじ）氏は、1947年岡山県生まれの著名なインダストリアルデザイナー・イラストレーターで、1972年にドンデザイン研究所を設立。JR九州の「ななつ星in九州」や九州新幹線800系「つばめ」、特急「ソニック」など、数多くの鉄道車両や駅舎のデザインを手がけ、ブルネル賞などの国際的な賞を多数受賞。「たま電車」やバス、商業施設、まちづくりなど、幅広い分野で「デザインとは総合的で創造的な計画」という信条のもと、地域の活性化に貢献しています。

### 《略歴》

1947年 岡山県に生まれる  
1966年 岡山県立岡山工業高等学校デザイン科を卒業し、大阪の「サンデザイン」に入社。  
1969年 イタリア・ミラノの「ステディオ・シルヴィオ・コッボラ」に勤務。退職後はヨーロッパを周遊する。  
1972年 「ドンデザイン研究所 (DON DESIGN ASSOCIATES)」を設立。

### 《主な実績》

1987年 「ホテル海の中道」のアートディレクション、デザイン、イラストを担当  
1988年 「アクアエクスプレス」を手がけ、鉄道デザインの分野へ進出。  
1992年 787系電車「つばめ」をデザイン。ブルーリボン賞およびブルネル賞を受賞。  
2013年 クルーズトレイン「ななつ星in九州」のデザインを担当。  
2019年 東京・豊島区のコミュニティバス「イケバス」をデザイン。

### 《主な受賞歴》

2010年 交通文化賞  
2011年 第59回菊池寛賞、毎日デザイン賞  
その他 787系「つばめ」でのブルーリボン賞、ブルネル賞など



## 天叢雲の導入にあたって

一畑電車に「津ノ森」という駅があります。出雲神話において、素戔鳴尊が八岐大蛇を退治した際、この大蛇の角と骨が流れ着いたのが「津(港)」の「森」という由来が残っています。そして、出雲平野を流れる斐伊川の上流、船通山で退治された八岐大蛇の尾から出たのが天叢雲剣。後に三種の神器のひとつといわれる神剣です。この叢雲とは、「群がり集まった雲」を意味し、当地に次々と湧き出でる雲を連想させます。今回の導入にあたり、この叢雲の下を走り抜ける電車を「天叢雲」と銘うちました。出雲の山並みを孕む叢雲を車窓から眺め、出雲神話に想いを馳せてください。



Design & Illustration by Eiji Mitooka + Don Design Associates

2026年11月運行開始 <予定>  
デハ10001・デハ10002

一畑電車株式会社 島根県出雲市平田町2226 Phone.0853-62-3383 <https://railway.ichibata.co.jp>

# AMENOMURAKUMO

縁結びの神々が宿る「あめのむらくも」



## 車両コンセプト

「あめのむらくも」は、ひと・こと・もの、人・社会・自然、経済・文化・人との縁を結び、豊かなコミュニケーションが自然に生まれる公共の電車としてハード、ソフト両面でデザインを進める。

「あめのむらくも」は、通勤・通学・観光をあまねく人々に好まれ、それぞれの人に、それぞれの時間と空間を提供する、オンリーワンの電車です。

## AMENOMURAKUMO

「あめのむらくも」のデザインには、感動と楽しさが詰まっていること。温もりを感じる木材をふんだんに使い、車両ではタブーとなっている、色、形、素材を使い、古今東西の様式やデザインを曼荼羅の様に組み合わせる。

「あめのむらくも」のデザインは、機能的で使いやすく美しいこと。普遍的でいつまでも新しいこと。多様的でユニークで楽しいこと。そのためには最先端の素材や工法と伝統的な職人の技を組み合わせコンテンツポラリーに使えるようユニバーサルデザインの充実に務めること。

## 今後の運行計画(運用方法)

一畑電車沿線には、出雲大社、宍道湖、松江城、神話ゆかりの地など、国内外から高い評価を受ける魅力ある観光資源が数多く存在します。新造車両「天叢雲」の導入を機に、これらの地域資源と観光需要の新たな創出を沿線自治体・観光事業者と連携を強化しながら計画していきます。沿線の食文化を味わう軽食・スイーツの提供・伝統工芸・神話・自然をテーマにしたプログラムなど、一畑電車が長年培ってきた地域交通としての役割に加え、沿線観光への回遊性、国内外観光客の誘客を強化することで、地域全体の魅力発信に貢献します。

## 第 12 次島根県交通安全計画（素案）について

### 1. 経緯等

島根県交通安全計画は、国の交通安全基本計画に基づき、県内における陸上交通の安全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱を定めるもの（交通安全対策基本法（昭和 45 年法律第 110 号））。

国の交通安全基本計画が令和 7 年度末をもって終了することから、次期計画の検討・協議が進められており、それを受け、島根県交通安全対策会議（会長：知事）にて、先月、次期第 12 次島根県交通安全計画素案が承認された。

### 2. 第 12 次島根県交通安全計画の概要

#### （1）計画期間

令和 8 年度～令和 12 年度（5 年間）

#### （2）計画の構成と主な取組

- ① 道路交通の安全：環境の整備、交通安全思想の徹底
- ② 鉄道交通の安全：環境の整備、鉄道交通の安全に関する知識の普及
- ③ 踏切道交通の安全：バリアフリー化等の促進、踏切道の統廃合の促進

#### （3）計画の目標（道路交通の安全）

	[目標]	[R7 実人数]
交通事故死者数	13 人以下	17 人
交通事故重傷者数	162 人以下	168 人
高齢者交通事故死者数	6 人以下	11 人

#### （4）計画（素案）

別冊のとおり

### 3. 今後のスケジュール

- |        |                      |    |
|--------|----------------------|----|
| 3 月下旬  | 国の次期交通安全基本計画策定       |    |
| 4 月～   | パブリックコメント            |    |
| 6 月定例会 | 第 12 次島根県交通安全計画（最終案） | 報告 |



# 第12次島根県交通安全計画(素案)の概要

## 計画の基本理念

- 県民が安全で安心して暮らせる島根づくりのため、交通安全の確保は欠くことのできない重要な要素であり、交通事故のない島根を目指す。
- 人命尊重の理念に基づき、歩行者等の交通弱者の安全を確保する「人優先」の交通安全思想を基本として施策を推進する。
- 少子高齢化が進展しても安全に移動できる社会の構築を目指す。
- 交通社会を構成する「人間」「交通機関」「交通環境」の三要素について、可能な限り成果目標を設定した施策を策定し、重点項目を定めて効果的に推進する。

	目標	対策
道路交通の安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 交通事故死者を13人以下にする。</li> <li>◆ 交通事故重傷者を162人以下にする。</li> <li>◆ 高齢者交通事故死者を6人以下にする。</li> </ul>	<p>≪10の視点≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 高齢者を交通事故から守るとともに交通事故を起こさないための総合的な対策</li> <li>② こどもの安全確保のための環境整備</li> <li>③ 歩行者の安全確保のための意識変容</li> <li>④ 自転車の安全確保のための法令遵守と通行環境の整備</li> <li>⑤ 小型モビリティの法令遵守の徹底と安全対策の推進</li> <li>⑥ 生活道路における歩行者等の安全確保</li> <li>⑦ 外国人の交通安全対策の推進</li> <li>⑧ 先進技術の活用推進</li> <li>⑨ 交通実態等を踏まえたきめ細やかな対策の推進</li> <li>⑩ 地域が一体となった交通安全対策の推進</li> </ol> <p>≪8つの柱≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 道路交通環境の整備</li> <li>2 交通安全思想の普及徹底</li> <li>3 安全運転の確保</li> <li>4 車両の安全性の確保</li> <li>5 道路交通秩序の維持</li> <li>6 救助・救急活動の充実</li> <li>7 被害者等支援の充実と推進</li> <li>8 研究開発及び調査研究の充実</li> </ol>
鉄道交通の安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 列車の運転による乗客の死者ゼロを目指す。</li> <li>◆ 鉄道運転事故全体の死者数減少を目指す。</li> </ul>	<p>≪2つの視点≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 重大な列車事故の未然防止</li> <li>② 利用者等の関係する事故の防止</li> </ol> <p>≪7つの柱≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 鉄道交通環境の整備</li> <li>2 鉄道交通の安全に関する知識の普及</li> <li>3 鉄道の安全な運行の確保</li> <li>4 鉄道車両の安全性の確保</li> <li>5 救助・救急活動の充実</li> <li>6 被害者支援の推進</li> <li>7 鉄道事故等の原因究明と事故等防止</li> </ol>
踏切道における交通安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 踏切事故件数ゼロを目指す。</li> </ul>	<p>≪視点≫</p> <p>それぞれの踏切の状況等を勘案した効果的な対策の推進</p> <p>≪4つの柱≫</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 踏切道の立体交差化、構造の改良及び歩行者等立体横断施設の整備、バリアフリー化の促進</li> <li>2 踏切道の統廃合の促進</li> <li>3 踏切保安設備等の整備及び交通規制の実施</li> <li>4 その他踏切道の交通の安全及び円滑化等を図るための措置</li> </ol>

## 第 2 期三江線沿線地域公共交通計画の策定について

### 1. 計画策定の目的

三江線代替交通を含む三江線沿線地域における広域的な公共交通ネットワークの充実とともに、誰もが安心して利用できる公共交通を提供することに加え、地域住民をはじめとする様々な方々に関わることにより、沿線地域活性化の礎となる公共交通体系を構築することを目的として策定する

### 2. 計画の期間

令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月（5 年間）

### 3. パブリックコメントの実施結果

- (1) 実施期間 令和 7 年 12 月 12 日～令和 8 年 1 月 11 日
- (2) 意見数 意見なし

### 4. 素案からの主な変更点

頁	項目	変更概要
1	0-1 計画策定の目的	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が極めて少ない状況で KPI 目標などの達成状況を評価することは適当でないと判断し、第 1 期計画の最終年度である令和 4 年度に計画期間を令和 7 年度まで 3 年間延長したことを追記
15	2-4 公共交通ネットワークの将来像	三次市作木町内を運行する三次市民バスが定時定路線の運行から、区域型（デマンド）運行に変更されたことを反映

### 5. 今後のスケジュール

- (2 月 6 日 三江線沿線地域公共交通活性化協議会 最終案審議)
- 2 月定例会 第 2 期計画（最終案） 報告
- 3 月 主務大臣（国土交通大臣、総務大臣）への送付